

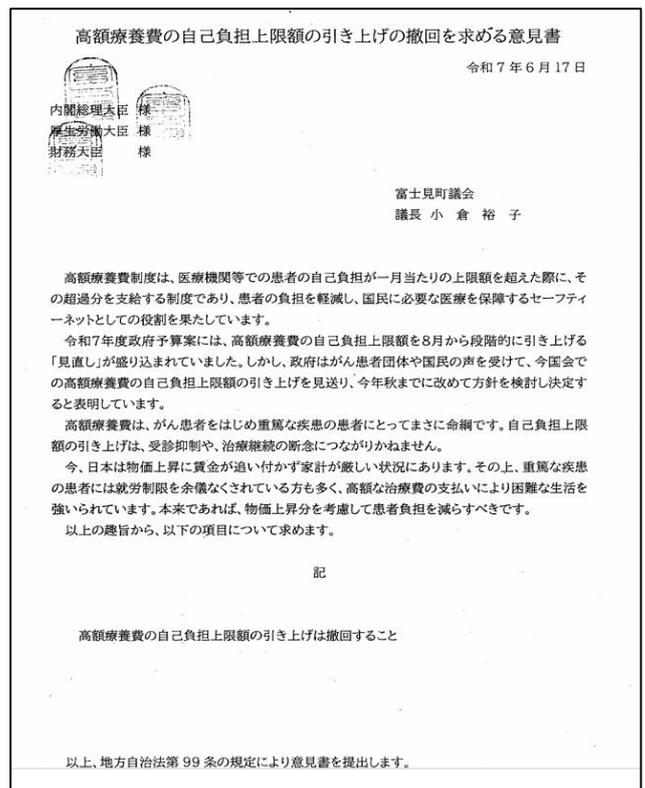
高額療養費負担額上限引き上げ撤回を！ 茅野市、富士見町議会で陳情採択、国へ意見書提出

社保協は6月、高額療養費制度の負担額上限額の引き上げ撤回を求める陳情]を下諏訪町、原村議会を除く4議会で提出し、茅野市、富士見町議会で採択され国へ、の意見書提出が行われました。また諏訪市議会は趣旨採択、岡谷市議会は不採択となりました。下諏訪町議会は既に3月議会で同趣旨の意見書採択・提出が行われています。(原村議会は提出期限に間に合わず)

社保協事務局は各議会での意見陳述を行いました。議員からは自らや家族がガンになったことで「高額療養費制度に助けられた」等の発言が多くあり、「(陳情の)趣旨に共感する」(茅野市、富士見町)との意見が出された一方で、「引き上げをしない場合の財源をどうするのか」(岡谷市、諏訪市)も出され、社会保障の財源確保論から採択に慎重や反対する議員も見られました。

富士見町議会は8月の町長選に関連し、3議員が欠員で委員会が3名という状況でした。が、委員以外の全議員が傍聴する中で審査され、全会一致採択されました。

また、下諏訪町議会で南信勤医協提出の「地域医療を守る医療機関の事業と経営維持のため、診療報酬の期中改定を求める陳情」が、7:5の賛成多数で採択され、意見書が提出されました。(右は富士見町議会で提出した意見書)



6/3 国保制度の改善について県要望

6/3、県社保協は県知事・県国保室に対しての国保改善要望を行いました。県から笹刈健康福祉部長ら4名、社保協側から県民医連など5名とともに、諏訪社保協からも事務局長が出席して懇談しました。主な県とのやり取りを下欄に掲載します。



笹刈健康福祉部長(左)に要望書を提出 (6/3 県庁)



共産党県議団から山口典久県議に同席いただきました

○資格確認書は国保加入者全員に交付して

⇒ 一律に職権発行する状況ではない。法律では電子資格確認を受け取ることができない状況にある時に交付するもの。

○18歳までの均等割り国保料の減免を

⇒ 国基準を超えて軽減は難しいが、県も不十分と考え18歳までの全額公費措置を要望していく。

○市町村担当は一般会計からの法定外繰り入れは不可能というが、合法なものは県が後押しして減免制度に道を開いて

⇒ 「決算補填等目的以外の繰り入れ」は禁止されているものではない事を、市町村を交えたワーキンググループで共有する。

国政では自・公・維 3 党合意で社会保障制度改革 参議院選(7/3~20)で審判を！！

自民・公明・日本維新の会の 3 党は 6/6、社会保障に関する協議を行い、全国の医療機関の病床 11 万床を削減することで正式合意しました。これは政府の経済財政運営の「骨太の方針」に反映するものです。11 万床の病床削減で約 1 兆円の医療費を抑制できると試算しています。合意後の会見で維新の会幹事長は「11 万床の削減合意は満額回答」「社会保障改革にとって大きな一歩」などと強調。「夏の参議院選挙で賛成か反対かを問い、民意の後押しで前に進みたい」などと社会保障充実を求める国民を敵視し、地域医療の危機をいっそう加速させる役割を果たしています。

3 党はこれまで国民医療費の「最低 4 兆円削減」などで合意（2 月）し、その第一歩として 11 万床削減、また OTC（市販薬）類似薬を保険適用から外すなど、国民負担を増やそうとしています。このような政治を許さない審判を参議院選で下していきましょう。社保協では参議院選挙に向けた政策アンケート（下記県社保協 HP の QR コードで参照できます）や「社会保障の改善は私たちの行動と投票から」と、ビラを発行し配っています。ご一読いただき一緒に政治を変えましょう。

OTC（市販薬）類似薬を保険外とは

OTC（市販薬）類似薬は、ドラッグストア等で処方箋なしで購入できる市販薬と同じ有効成分であるなど類似している医薬品。保険適用外となると、▽価格の高い市販薬の購入を強いられることで患者負担が増える（福祉医療費助成制度や難病など公費助成の対象から除外される）▽患者が自己判断で市販薬を使用すれば、受診控えによる症状悪化のリスクが高まる▽治療に必要な医薬品が保険で処方できなくなり、小児科医会は 4/16、緊急に上記等含めた 7 項目を掲げて反対しています。

OTC 医薬品と医療用医薬品薬価の自己負担額との比較

| 有効成分 | 単位 | 価格（円） | | |
|--------------------|--------------|----------------------------|-----------|-----|
| | | OTC 医薬品 メーカー希望小売価格（税込み） | 自己 負担額 | |
| アセトアミノフェン（解熱鎮痛薬） | 300mg 1 錠当たり | 88.9 | 1.8 | 49倍 |
| ファモチジン（胃酸分泌抑制薬） | 10mg 1 錠当たり | 179.7 | 3.0 | 60倍 |
| フェキソフェナジン（花粉症薬） | 60mg 1 錠当たり | 103.2 | 3.0 | 34倍 |
| ロキソプロフェンナトリウム（湿布薬） | 50mg 1 枚当たり | 138.3 | 3.6 | 38倍 |
| 葛根湯（漢方薬） | 1 錠当たり | 27.1 | 1.2 | 23倍 |

日本総研2025年2月5日「医薬品『零售』規制の妥当性を問う」から



県社保協「社会保障に関する政党アンケート回答」はこちら

諏訪社保協第 12 回総会

日時：8月28日（木）午後6時～

場所：下諏訪町総合文化センター 2階会議室

記念講演

（Zoom 併用）

『全世代型社会保障改革』の現在地と課題

～医療政策の ゆくえ～

講師

公益財団法人日本医療総合研究所研究・研修委員
元全国保険医団体連合会事務局次長

寺尾 正之 氏

・主な著作・論文に、『医療DXが社会保障を変える』（共著、自治体研究社、2023年）、「病院・病床統廃合計画は地域の実情に沿えるのか」（『月刊保団連』2024年2月号、全国保険医団体連合会）、「医療制度改革—公的医療費抑制へ報酬改定、『医療DX』の動き」（『経済』2024年6月号、新日本出版社）ほか。

